

# あきた労福協

2021年6月1日

No. 139

発行所／秋田県労働福祉協議会

発行責任者 高橋暢嘉

秋田市中通6丁目7-36 フォーラムアキタ内

TEL:018-833-1875・FAX:833-0506

ホームページ <http://akita.rofuku.net/>

## 秋田労福協第59回定期総会を開催！

秋田県労福協は、5月27日（木）にイヤタカにおいて第59回定期総会を開催した。新型コロナウイルス感染防止のため、昨年に引き続き特別な処置として代議員数を15人に調整し開催した。総会は、黒崎副会長のあいさつに始まり、議長に連合秋田副会長の加藤忠浩氏が選出された。

才村会長より「コロナによる雇用への影響は、雇調金の特例措置が切れる夏場から更に悪化すると懸念される。これまで以上に労働運動と労働者福祉事業が関係を強化し、NPO等と連携を深め「共助の輪」を広げていかななくてはならない。

今年は、秋田労福協も設立60周年、「東日本大震災」からも10年という節目でもあります。

「今こそ労働者福祉運動の出番だ！」との気概を持って「持続可能な安心社会」の実現に向け最大限の努力をしていくと力強く決意を述べた。

その後議事に入り2020年度活動・決算報告、2021年度活動方針・予算（案）等が審議され、すべての議案が承認された。最後に才村会長による「団結ガンバロー！」で定期総会は終了した。



### フードバンク事業へ支援



### 「もったいない」から「ありがとう」へ

#### ＝ 「ろうふくエール基金」追加助成！ ＝

秋田県を指定したろうふくエール基金への寄付は、**402,021円** ご協力ありがとうございました。

この寄付金は、前回に続いてコロナ禍に伴う様々な困難を抱えた人たちの生活支援活動をしている「フードバンクあきた」「秋田たすけあいネットあゆむ」の2団体へ5月21日（金）秋田労福協より贈呈した。



秋田たすけあいネットあゆむ



フードバンクあきた

#### ＝ フードドライブ活動へ支援物資の提供！ ＝

飯島製錬労働組合とテンマジャパン労働組合から支援物資の提供がありました。

今回の支援物資は、フードバンク事業や親子食堂など生活困窮者へ支援をしている「秋田たすけあいネットあゆむ」へ寄贈した。支援物資は、いつでも受け付けております。みなさまのご協力お待ちしております。



ジュース24本（飯島製錬労働組合）

米30kgと日用品等  
（テンマジャパン労働組合）

### 奨学金返済や教育費の負担を軽減するため税制支援を求める署名活動へのお願い



#### オンライン署名はコチラから



- ※ 奨学金返済者の負担軽減につながる
- ※ 保護者の教育費負担の軽減につながる
- ※ コロナ禍により幅広い層の奨学金返済者や保護者が困難を抱えている

### ライフサポートセンターあきた『法定相続より遺言書が優先？』



**【Q】** 姉夫婦には子供がおらず、両親は既に他界している。姉の夫・姉と相次いで亡くなり、預貯金と土地・建物が財産として残った。公正証書には、すべての財産は夫の姉に相続させると記載されていた。これは、入院中の姉に対し義理の姉とその子供が口頭で聞いて作成したものである。その後、すべての財産は義理の姉が相続した。

**【A】** 遺言書があれば指定相続人となり法定相続人より優先されます。兄妹には遺留分の権利がないため相続はできません。念のため専門家へ相談してみてください。



生活応援バンク **ろうきん**

はたらくあなたの、いちばんそばに。

ためる、かきる、ふやす。相談できるって、心強い。

0120-1919-62 (受付時間: 平日 午前9時~午後5時) <https://www.tohoku-rokin.or.jp>

こくみん共済 NEWS 05202009

保障点検強化期間 6/1(火)~8/31(火)

誰もが難しいと感じている「保障」のこと。保障が昔のまま...なんてことはありませんか？今のあなたにとって必要な保障を考えてみましょう。

こくみん共済 総合医療共済 せいめい共済

に新規加入の方は、抗菌マスクケースプレゼント！ ※紺を基調としたケースです。

資料請求・お問い合わせ先

**こくみん共済 秋田推進本部**

全日本共済生活協同組合連合会 COOP (秋田県労働者共済生活協同組合) **TEL 018-824-6031**

「こくみん共済coop」は富利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員になることで各種共済制度をご利用いただけます。

#### 編集後記

6月は衣替えの季節。学生たちの制服が夏服へと変わり、天気の良い日は半袖姿が目につくようになった。しかし、マスクの着用はこの夏も必須となる。これからは熱中症に注意しなければならないが、マスク着用は熱中症のリスクを伴う。日差しの強い人出の少ない場所ではマスクを外すなどの工夫も必要だ。ワクチン接種が終わるまでは辛抱の日々が続きそうである。(J.I)